

## 船舶事故調査報告書

平成30年10月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	定置網損傷
発生日時	平成30年1月13日 07時03分ごろ
発生場所	三重県志摩市波切漁港北東方沖 波切港東防波堤灯台から真方位053° 1, 140m付近 (概位 北緯34° 17.4′ 東経136° 54.8′)
事故の概要	プレジャーボートKing Marlinは、航行中、定置網に進入し、定置網が損傷した。
事故調査の経過	平成30年1月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート King Marlin、36トン
船舶番号、船舶所有者等	140400、株式会社丸浩重機工業（A社）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 プロペラ翼に折損 定置網 浮子網及び道網に折損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約1m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期 日出時刻：07時01分ごろ
事故の経過	本船は、所有権移転に伴う回航の目的で、船長ほか2人が乗り組み、東京都江東区所在のマリーナに向けて沖縄県宜野湾市所在のマリーナを出発し、途中、波切漁港に入港した。 本船は、波切漁港を出港して同漁港北東方沖を航行中、定置網に進入し、自力航行ができなくなった。 船長は、海上保安庁に救助を要請した。 海上保安庁の職員は、定置網の所有者とともに本事故現場に向かい、船長及び乗組員を救助した。 本船は、翌日、定置網の所有者の船によって引き出された。 船長は、本事故当時、A社から中古で本船を購入した民間会社に依頼を受け、本船に乗り組んでいた。
分析	本船は、波切漁港北東方沖を航行中、定置網に進入し、定置網が損傷したものと考えられるが、船長から情報が得られなかったため、定置網に進入するに至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、波切漁港北東方沖を航行中、定置網に進入したことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・発航前に地元漁協等に問い合わせるなどして予定針路線付近の定置網の設置状況を調査し、同網に進入しないよう注意して航行すること。</li></ul> |
|--|---|